学校だよりのBIG TREASURE

大きな宝

児童数 511名

発行責任者

栗東市立大宝小学校

校長 坂東 靖記

発行日

令和7年6月30日

～自分で自分を高める子～

6月16日～22日は「家庭学習がんばろう週間」でした。学校では、事前に自主学習ノートの使い方はもちろん、自分に合った内容やめあて等の課題設定、ふり返りの仕方等を学年に応じて指導しました。ご家庭では、学習の様子を見ていただいたり、学習カードにコメントをいただいたりして、ご協力いただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

本校では、自分で自分を高める自己指導能力や自律心の育成を重視しています。この週間も、その一環です。本校は、今年度、滋賀県総合教育センターのプロジェクト研究『一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた小学校におけるキャリア教育のあり方』の研究協力校（対象：5年生）となりました。この研究を学校教育の充実につなげていきたいと思えます。

音楽会

6月10日の音楽会には、雨天の中たくさんの方にご参観いただき、ありがとうございました。どの学年の歌声もとても素敵で、感動しました。みんなが同じ目標に向かって、自分なりに頑張っている姿がたくさん見られました。翌日の児童集会（音楽会）では、子どもたちの表情に達成感や充実感が表れていて、とても嬉しい気持ちになりました。

ペア交流会

6月25日は、児童会活動「ペア交流会」があり、1&6年、2&5年、3&4年がそれぞれペアとなり、各教室で遊びました。遊びの内容は、上学年各クラスの学級会で話し合われたものでした。話し合いでは、ペアとなる相手の学年のことを考えた意見や、実行した際の心配事等が出し合いながら、「仲良くなれる」「みんなが楽しめる」という目的を踏まえた内容に決めることができました。当日は、上学年が下学年に優しく接したり、分かりやすく説明したりする姿や、下学年の笑顔がたくさん見られました。上学年も「やってよかった」という気持ちになれていたように思います。このように、人の役に立つ経験や、話し合いを生かしてみんなの願いをみんなで実現する経験を、今後も大切にしていきます。このような活動の中で、子どもが自分の持ち味を発揮したり、それにより誰かが喜んでくれたり、誰かに認められたりすることが、先述した「自分で自分を高める力」につながると考えています。

その他のお知らせ

◆7月8日の参観日に県人権教育課「子どもが輝く学校づくり研究事業」の訪問があり、研究協力者の白松賢教授（愛媛大学）をはじめ県や市の教育委員会担当者が5,6時間目の授業を参観されます。お知らせください。

◆本校の「いじめ防止基本方針」をホームページに公開しています。6月号で掲載したピンクレンジャーを含めた未然防止の取組や、現在実施中の「ぬくもりタイム」等早期発見の取組、いじめへの対処、さらには市教育委員会や警察等関係機関との連携等が記載されています。ご覧ください。